令和6年12月24日

福知山市議会議長 田淵 裕二 様

予算審査委員会委員長 高橋 正樹

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・ 議第59号 令和6年度福知山市一般会計補正予算(第5号)
- ・ 議第73号 令和6年度福知山市一般会計補正予算(第6号)
- ・ 議第74号 令和6年度福知山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・ 議第75号 令和6年度福知山市国民健康保険診療所費特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議第76号 令和6年度福知山市休日急患診療所費特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議第77号 令和6年度福知山市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・ 議第78号 令和6年度福知山市病院事業会計補正予算(第1号)
- ・ 議第83号 令和6年度福知山市一般会計補正予算(第7号)

2 審査の概要

12月17日、18日、19日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第59号の大阪・関西万博への催事等出展事業(秘書広報課分)について、「鬼文化を福知山で盛り上げるお面制作ワークショップの開催など、万博百鬼夜行実施等業務の事業費の具体的な内容」を問う質疑があり、「万博の開催前に事前に市内で鬼のお面作りのワークショップを行うためのチラシの作成やワークショップ及び万博当日の様子などの記録写真や映像の撮影及び、この百鬼夜行自体の企画や展示物の作成、大阪万博への下見に係る出張旅費などが事業費の内容であり、本市の魅力を発信することで市内への誘客を図っていききたい」との答弁がありました。

次に、大阪・関西万博への催事等出展事業(産業観光課分)について、「台湾の旅行会社との商談会への参加とあるが、なぜ台湾の旅行会社なのか」を問う質疑があり、「京都府や海の京都DMOもこれまでより台湾を主なターゲットとしており、特に海の京都エリアのインバウンドで台湾からの観光客が一番多い現状がある。交通の要衝である本市にとっては相乗効果が期待できること及び、福知山市内の外国人宿泊者数調査でも台湾は常に上位であることに加え、現在観光アクションプランの策定にあた

って議論を行っている観光誘客促進会議において、インバウンドのメインターゲットを台湾・香港を中心とする東アジアに設定していることなどもあり、今回の万博を契機として、台中と台北で台湾の旅行会社と直接に商談した上で、福知山市内での宿泊や滞在を伴う旅行商品の造成を依頼するものである」との答弁がありました。

続いて、「関西国際空港における観光PRの内容」を問う質疑があり、「関西国際空港での観光PRについては、福知山城や丹後和紙、丹波漆、鬼伝説、体験型観光コンテンツなどのPRを行い、甲冑隊の方にも参加いただくことで、本市の魅力をPRしていくことを考えている」との答弁がありました。

次に、地方債繰上償還について、「今回の令和7年度、8年度の5億円の繰上償還を行うことで、利息等の年度負担がどれくらい減額になる見込みなのか」を問う質疑があり「間もなく償還時期が来る7年度と8年度の償還分であり、それほど大きな利息の減額にはならないが、今後の公債費を減らしていくという意味では財政運営上必要と考えている」との答弁がありました。

次に、带状疱疹ワクチン接種事業について、「福知山市は国の定期接種化に先駆けて、ワクチン接種の助成事業を行っているが、来年度からは国が定期接種化に向けて動いていると聞く。このことについての見解」を問う質疑があり、「带状疱疹ワクチン接種事業については、京都府内においても本市が先駆けて実施をしてきた。来年度から定期接種化されるとの報道も一部でなされているが、今後、国から自治体に対する説明の機会もあると伺っており、そのことも踏まえて、今後の対応を検討していきたい」との答弁がありました。

次に、議第78号の令和6年度福知山市病院事業会計補正予算について、「市民病院本院の外来収益で1日平均の患者数が5名減と補正されているが、この5名減少の背景分析をどのように捉えているのか」と問う質疑があり、「昨年度に比べて、新型コロナ発熱患者の受診減少や小児のマイコプラズマといった感染症において減少が見られるので、その分の外来患者数が減少したと分析している」との答弁がありました。

続いて、「逆に入院患者数は増になっている要因」を問う質疑があり、「入院患者数の増については、特定の疾病が増えたということはないが、分析としては、病床のベッドコントロールにより、受け入れ体制ができていることが一つの要因ではないかと考えている。前年度は84%程度の病床利用率であったものが、現在は87%程度になっているので、そうした背景での入院患者数の増加であると捉えている」との答弁がありました。

次に、議第83号の住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業について、「国の経済対策において物価高の影響を受ける低所得世帯支援として、プッシュ型手続きの手順」を問う質疑があり、「今回の給付では、令和5年度給付金支給世帯と令和6年度に新たに非課税となられた世帯が対象となるので、既に支給口座がわかっている方がほとんどである。プッシュ型では、既に振込口座がわかっているため、修正変更がある場合のみ連絡をいただき、連絡がない場合は、確認書等の返送はもらわずに振込みを行うことになる」との答弁がありました。

続いて、「今回の臨時特別給付金の広報の手法」を問う質疑があり、「新聞社1社に1回の掲載を予定している。また、広報ふくちやま2月号と福知山市のホームページにも掲載を予定している」との答弁がありました。

なお、議第74号、議第75号、議第76号、議第77号についての質疑はありませんでした。

反対討論

なし

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・ 議第59号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第73号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第74号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第75号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第76号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第77号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第78号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第83号 全員賛成で原案可決